

児童読本

健太くんのおでかけ



いっしょに楽しくおでかけ

今日は日曜日。

お日様もニコニコとてもいい天気です。

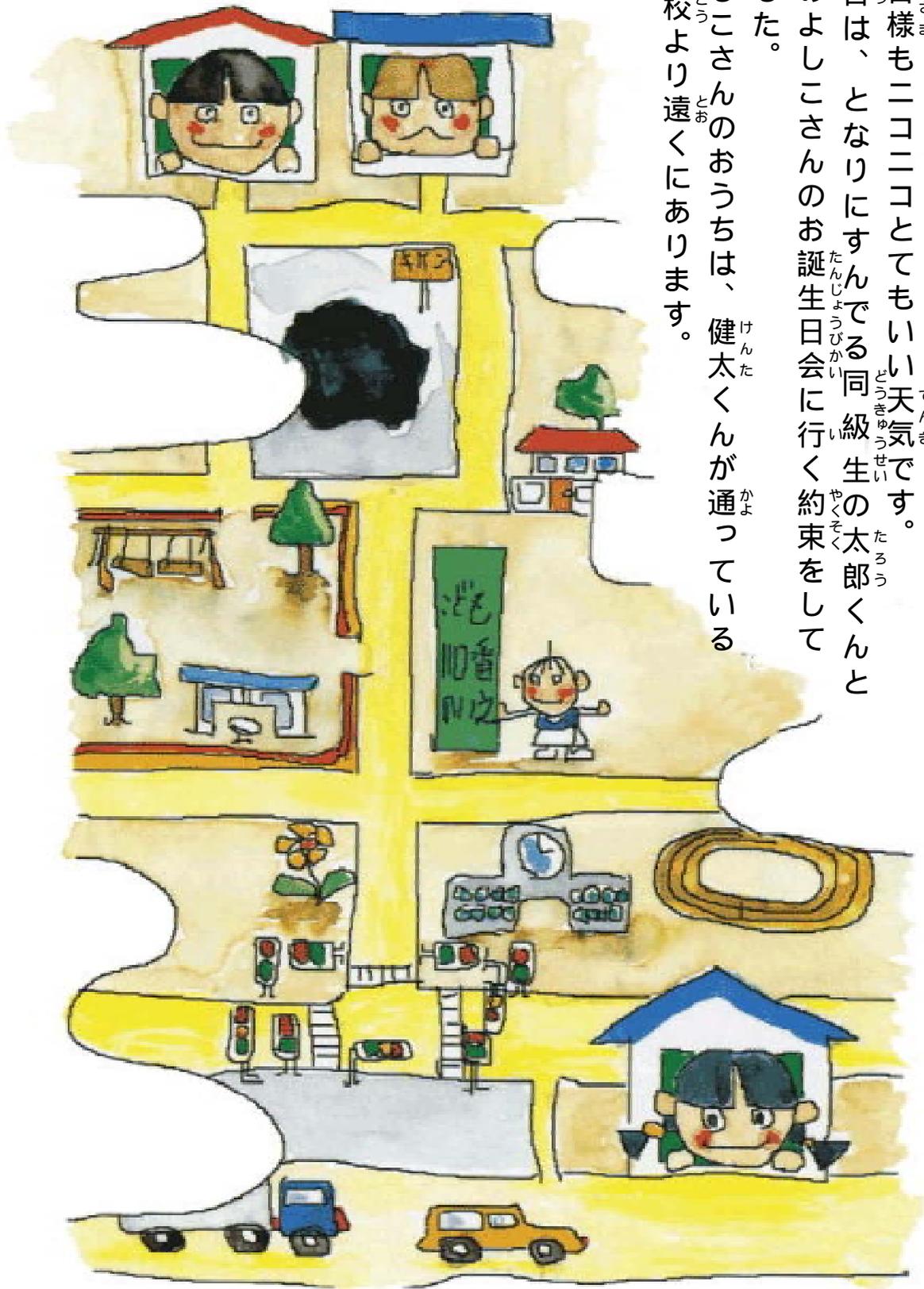
今日は、となりにすんでる同級生の太郎さんと

友達のよしこさんのお誕生日会に行く約束をして

いました。

よしこさんのおうちは、健太くんが通っている

小学校より遠くにあります。





「おうちの人に言つて出かける。」と答えた人は、なんと声をかけたのかな？

遊びに行つてきまゝす。

太郎くんと一緒によしこさんちのお誕生会に行つてきまゝす。3時ごろには帰るね。

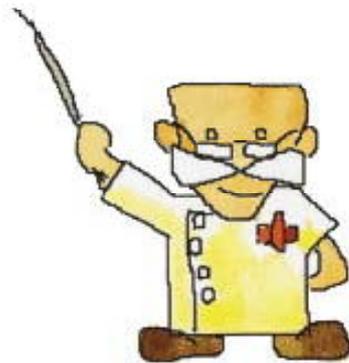
外に出かけるときには、君はどちらかな？

おうちの人に言つて出かける。

おうちの人に言つて出かける。

健太くんはおうちを出て、太郎くんをさそいに行きました。

外に出かけるときには、かならず
おうちの人に
だれとどこに行くか、
なにをするのか、
いつ帰るか
を言つて出かけようね。
だまって出かけるとおうちの人
心配するよ。



健太くんは、太郎くんをさそって一緒にお出かけしました。
あ、太郎くんがかけたしました。
太郎くんが走って行ったのは、丘の上にあるため池でした。

太郎くん

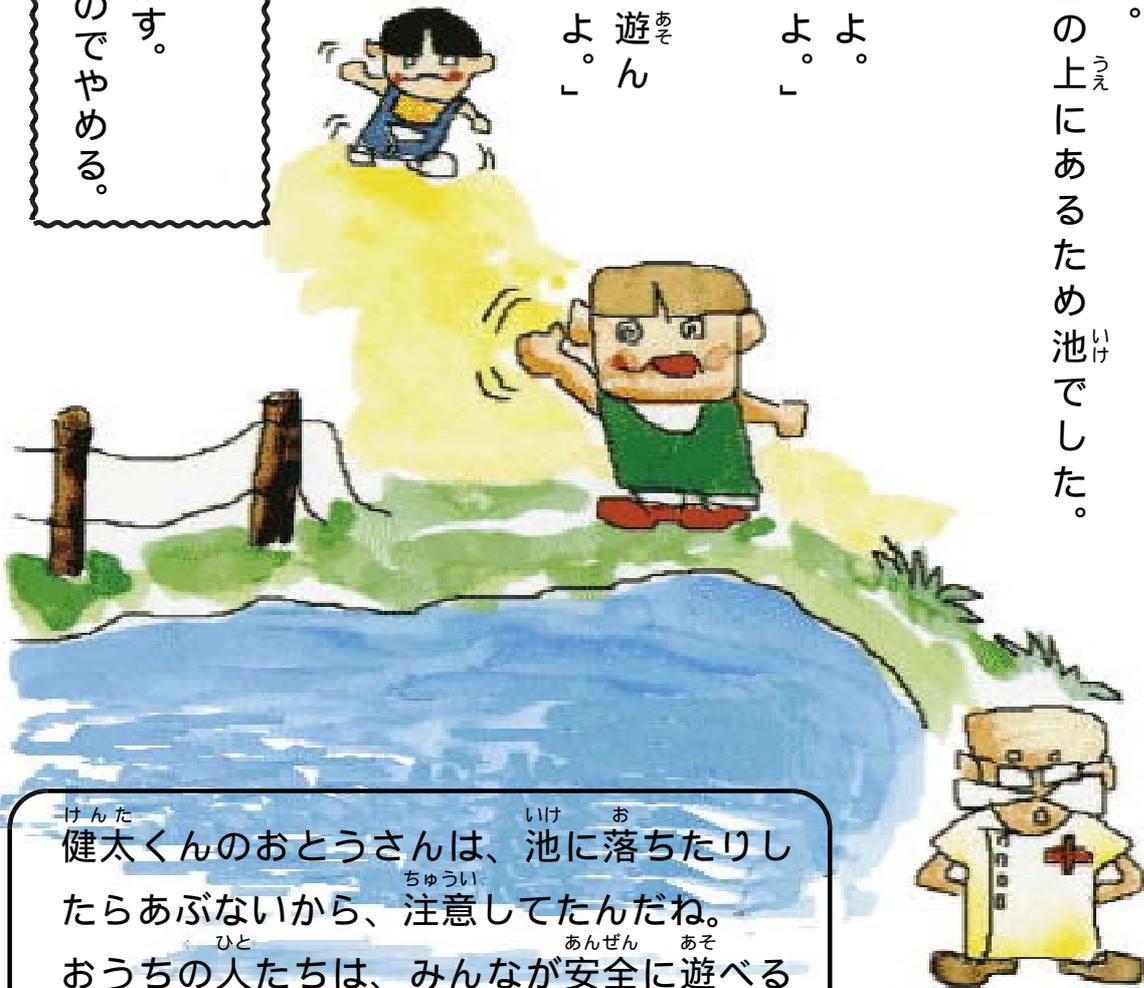
「けんちゃん、きて！きて！」

「ここにはザリガニがいるんだよ。
一緒にザリガニを見つけてようよ。」

健太くん

「おとうさんが、その池で遊んではいけないって、いってたよ。」

君だつたらどうする？
太郎くんと一緒にザリガニをさがす。
遊んでは、だめだといわれているのでやめる。



健太くんのおとうさんは、池に落ちたりしたらあぶないから、注意してたんだね。
おうちの人たちは、みんなが安全に遊べる場所か、あぶない場所かをよく調べて、みんなに教えているんだよ。

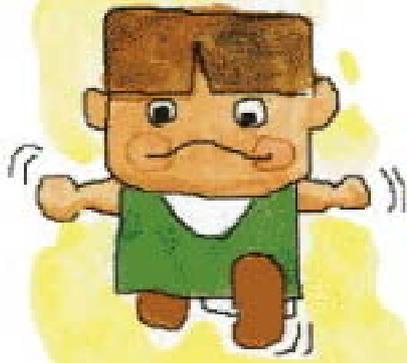
健太くんは「早く、よしこちゃんちへいこうよ。」といって太郎くんの腕を引いて道路にもどりました。

二人は一緒によしこさんの家に向かって歩きはじめました。

今度は、健太くんの大好きなブランコのある公園の前にきました。と公園のブランコに乗って遊び

だしました。

しばらく遊んでいると、太郎くんが「おしっこしてくる。」と一人で公園のトイレにかけだして行きました。



注意！
公園のトイレに行くときは、一人で行かずに友達と一緒にいくこと。

君^{きみ}だったらどうする？

よしこさんの家^{いえ}に行く。

こども110番^{ばん}のいえに

かけ込んで公園^{こうえん}のおじさ

んのことを知らせる。



健^{けん}太^たくんの後^{あと}を追^おいかけてきた

おじさんは、太郎^{たろう}くんがいたので

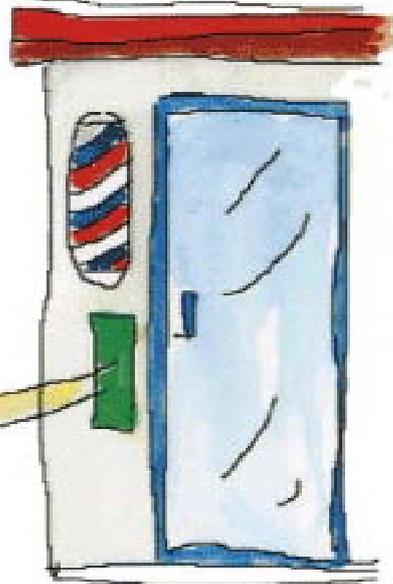
どこかへ行ってしまいました。

公園^{こうえん}を出^でました。

公園^{こうえん}の前^{まえ}に、こども110番^{ばん}の

いえーがあります。

太郎^{たろう}くんと一緒^{いっしょ}に



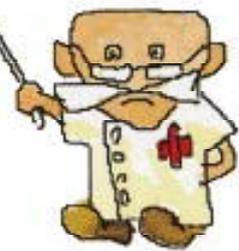
「こども110番^{ばん}のいえ」は、子ども^こがあや

しい人^{ひと}に声^{こえ}をかけられたり、危険^{きけん}を感じたり

したとき^{とき}にかけ込むお家^{うち}やお店^{みせ}などだよ。

だから、このような時^{とき}にはかけ込んで、そこ

のお家^{うち}の人^{ひと}に知らせ^しなきゃだめだよ。





こども110番のいえの人に送られて、
二人はよしさんの家にむかいました。
公園を通りすぎて、健太さんの通っている
小学校前まできました。
小学校を通りすぎたところに大きな交差点
があります。

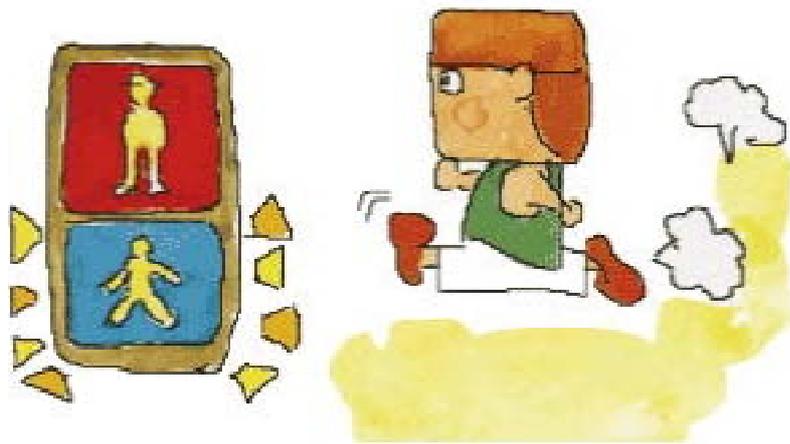
ちようと、健太くんたちの進む方向の信号は
青色でした。
でも、歩行者用の青信号がチカチカと点滅を
はじめました。

太郎くん
「あ、赤になるよ。急いで渡ろう。」

君だったらどうする？

太郎くんと一緒に走って渡る。

だめだよ！と太郎くんをとめて、次の青信号まで待つ。



歩行者用信号の点滅は、横断歩道を渡りかけている人に急いで
渡りなさいよ、赤色に変わりますよ、という表示なんだよ。
これから渡ろうとする人は、次の信号まで待とうね

無事に交差点を渡ることができ
きました。
あとは、路地を通過して大通り
に出れば、もうすぐ、よしこさ
んのおうちです。

太郎くんは、
「どつちが先に着くか、
かけっこだ！」

と、急に路地を走り出しまし
た。
路地の先は、車の多い大通
りです。

君だつたらどうする？
負けないように路地から
大通りをかけぬける。
あぶないから、大通りに
出る前に必ずとまる。



こどもの交通事故で多いのは、狭い道から大きな道への飛び
出しや車と車の間からの飛び出しなんだ。必ず、止まっ
て、車がこないかどうかを確かめてから行こうね。

帰りも寄り道しないでまっすぐ帰ろうね。



健太くんと太郎くんは、無事によしこさんの家にとり着くことができました。そして、よしこさんのお誕生会が楽しく開かれました。



君は無事にたどり着けたかな？
自己紹介がくれたけど、私はこども
の安全を守るあんぜん博士だよ。
これから、みんなが安全で安心して、楽しく遊ぶためにはどのようなことに注意したらいいかをおまわりさんが教えてくれるよ。





悪いことをしようとする人は、
かわいい子猫がいるし、見せてあげるよ。
新しいゲームソフトがあるけど、遊ばないかい。
落とし物をしたんだけど、一緒に探してくれないかい。
小学校へは、どう行くのかな、つれて行ってくれないかい。
などとやさしい顔で近づいてきたり、むりやりに腕を引っ張ったりして、連れて行くことすらあるんだよ。

子どもを誘拐したりする悪い人がねらうのは、
一人で遊んだりしている子ども
子どもが一人であれば、道路でも公園でも団地のなかでもねらわれるんだ。



だから、次のことを守^{まも}ってね。



次は、交通事故について考えよう。
みんなが事故にあう場合は、どんなときかな。

曲がり角での飛び出し



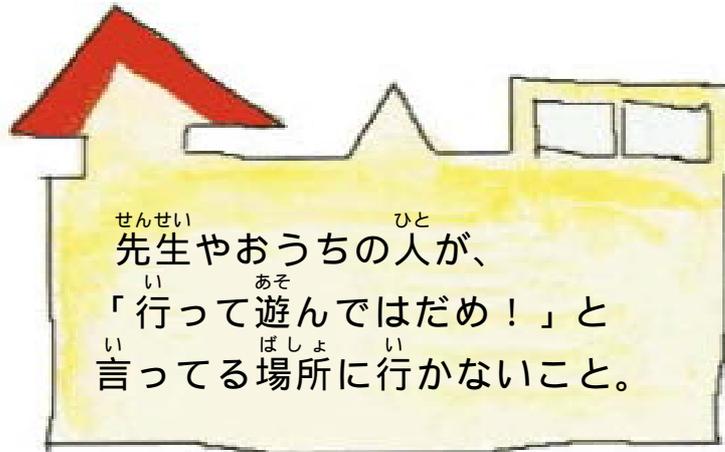
道路への飛び出し

自転車に乗ってる時も同じだよ。

ほかにも
止まっている車のまわりで遊んだりして
止まっている車と車の間から飛び出して
事故にあった友達もいるんだ。



信号機や横断歩道のない
道路の横断



交通事故のほかにも注意するものがあるんだよ。
たとえば、みんなの好きな山や川、海で遊ぶ時だね。
次のことを守って、元気に遊ぼうね。



おうちのひとやおとなのひとと一緒に楽しく遊ぶね。
おうちのひとやおとなのひとと一緒に楽しく遊ぶね。



君はどっちなかな？

知らない人につれていかれそうになった！
なんてさげぶのかな？

ギャ～ッ！

イヤ～ッ！

やめて～！

たすけて～！

「ギャ～ッ！」や「イヤ～ッ！」というさげび声は、みんなが友達と遊んでいるときはよく使うね。
だから、まわりの大人もこどもの遊び声とまちがえるんだね。
知らない人に連れていかれそうになったら、はっきりと大きな声で「やめて！たすけて～！」とまわりの大人に聞こえるようにさげぶんだよ。

